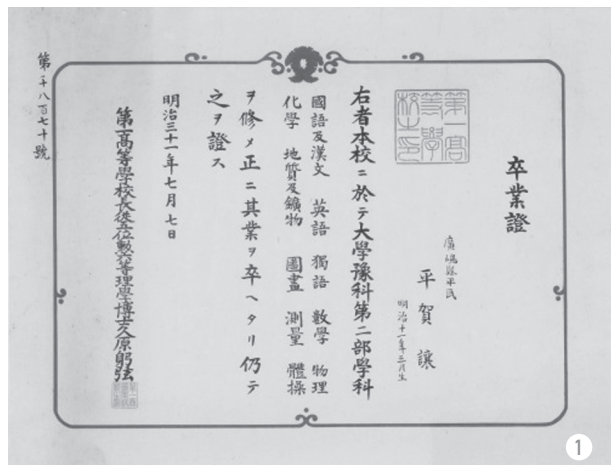


平賀譲とその時代

——高生から東大総長へ

平賀譲（1878-1943）は、東京大学教養学部の前身たる第一高等学校から東京帝国大学造船学科に進み、卒業後、海軍に入り、イギリス留学を経て大艦巨砲主義時代の軍艦の設計者として縦横に腕をふるうとともに、東京帝国大学工学部で後進の育成に努め、工学部長、総長を歴任、戦時期の大学運営に尽力しました。

本年は東京大学創設と平賀生誕から数えて 130 周年にあたります。そこでご遺族から東京大学に寄託された膨大な資料（平賀譲総長文書）を所蔵する柏図書館と駒場博物館が共催して、東大寄託の資料によって平賀の足跡をたどる展覧会を開催することにいたしました。なお東京大学では平賀譲デジタルアーカイブを構築し、附属図書館電子化コレクションにて一般の閲覧の用に供する運びになりました。また呉市海事歴史科学館でも本展覧会をふまえ、今秋に「軍艦総長平賀譲～広島が生んだ海軍造船界の巨人～」展の開催が予定されております。



- ①平賀の第一高等学校卒業証 ②造船学科卒業直前の平賀(最前列右端)
- ③柏図書館 ④平賀譲デジタルアーカイブ(トップページ)

駒場博物館 <http://museum.c.u-tokyo.ac.jp/>
 柏図書館 <http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/kashiwa/>
 平賀デジタルアーカイブ <http://hiraga.is.k.u-tokyo.ac.jp/>
 呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム) <http://yamato.kure-city.jp/>